

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 5021

# カイザーEPプライマー

1. 一般名 特殊変性エポキシプライマー  
2. 規格 社内規格  
3. 特徴 1) 素地及びウレタンエラストマーとの付着性がすぐれている。  
2) 塗装作業性が良好である。

## 4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	15kgセット(主剤:7.5kg、硬化剤:7.5kg)				
色相	グリーン				
光沢	つや有り				
密度(23°C)	塗料	0.95			
	揮発分	0.85			
加熱残分	44%				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	指触	3時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	8時間	6時間	4時間
標準膜厚	30μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	ISO-Sa2 <sup>1/2</sup> (SSPC-SP10)以上				
調合法	主剤:50部、硬化剤:50部(重量比)				
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C	
	16時間	12時間	8時間	5時間	
使用シンナー	エポニックスシンナーA				
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗装		エアレス塗装	
	希釈率	0~5%		0~5%	
	標準使用量	0.10kg/m <sup>2</sup>		0.13kg/m <sup>2</sup>	
	標準膜厚	30μm		30μm	
	ウレタン管理膜厚	75μm		75μm	
エアレス塗装条件	1次圧0.4MPa(4kg/cm <sup>2</sup> )以上				
	2次圧12MPa(120kg/cm <sup>2</sup> )以上 チップNo.163-515~715				
塗装間隔	温度	5°C	10°C	20°C	30°C
	最小	24時間	20時間	16時間	12時間
	最大	14日	7日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

## 6. 施工上の注意

- 被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時は主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて拭いて調整してから塗装する。
- 希釈には必ずエポニックスシンナーAを使用する。
- 塗装終了後、使用機械は直ちにエポニックスシンナーAで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。